

大会宣言

少子高齢化による急速な人口減少のなか、わが国の中山間地域をはじめ地方社会の経済基盤はますます弱体化している。さらに市場原理主義を進めるTPP交渉に参加することになれば、日本の国土を支えてきた農村社会の崩壊を招きかねず、この国の将来に対する不安はさらに高まっていくことになる。また、東日本大震災・原発事故以降、消費者の食品に対する安全意識は高く、食の生産・流通を担う責任は日々増してきている。

そうしたなかで我々は、農協運動の原点に立ち、「未来ある農業」「明るい農村づくり」のため、盟友や消費者との協同によって、営農や暮らしを守る農村社会の地域コミュニティを再構築する必要がある。

そのためにも我々は、営農や地域社会に関する課題を自主的に発見し、具体的な行動と提案を通じて、解決をめざしていくポリシーブックの取り組みを発展させていくことが重要である。このポリシーブックの取り組みを中心とした組織活動の実践により、盟友のスキルアップや地域リーダーの育成を図る。そして、農協運営に積極的に参画することにより、地域農業さらには農村社会を盛り上げ、次代を担う生産者としての責任を自覚し、消費者の期待に応えるための取り組みを先頭に立って推し進めなければならない。

農協青年組織に結集する我々は、日本農業と地域社会の担い手として、盟友達の歴史や活動を発展・進化させ、想いをつなげていくために一丸となって取り組んでいく。

以上、宣言する。

平成25年2月15日

第59回JA全国青年大会

※ この大会宣言は、約1,400名の青年農業者が全国各地から日比谷公会堂に結集して行われた「第59回JA全国青年大会」（平成25年2月14、15日）にて決議されました。